

3月11日をむかえて 立命館大学校友会 山中諄会長のメッセージ

2011年3月11日に発生した東日本大震災においては、地震や津波、そして福島第一原子力発電所の事故により甚大かつ深刻な被害が発生し、私たちの仲間である校友も含め、多くの方々が影響を受けました。あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

立命館大学校友会では、被災された校友に対する支援の一環として、
「被災地の校友（校友会）と全国の校友（校友会）とを繋ぐ『場』と『機会』の創出」
「被災地の校友会による独自の取組みに対する支援」
「義援金の募集の継続と推進」

を三つの柱として復興支援事業に取り組んで参りました。

なかでも、震災直後の2011年3月24日より行っております義援金募集活動に対しては、各都道府県や海外、職域、ゼミ、サークルなどグループ校友会、また校友個人など、多くの皆様から義援金をお寄せいただき（2012年3月11日時点 総額：6,998,287円 個人2145名／団体・グループ161件）、皆様のご厚情に感謝致します。

しかしながら、震災発生より1年を経た現在もなお、多くの校友が困難な状況にいらっしゃいます。

地域が復興し、被災された方々が元のような生活を取り戻すには、まだ相当長い年月がかかると思われまます。

立命館大学校友会では、被災された校友の方々への物心両面からの支援を継続すべく、今後とも引き続き復興支援各種事業、義援金募集に取り組んで参ります。

引き続き校友の皆様による温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2012年3月11日
立命館大学校友会 会長
山中 諄